



チャレンジはんだ 水野尚美

医療的ケア児と家族支援

問 医療的ケア児（ケア児）の成長に合わせて継続的な支援が必要と考えますがどのような仕組みになっていますか。

答 ケア児の支援を調整するコーディネーターを医療と福祉の分野に2名ずつ配置し、ケース検討会議の方針に基づき、児童の発達段階に応じた支援を関係機関で連携して行っています。

問 ケア児が就園、就学の時期において、家族の付き添いがなくても適切な支援を受けられるにはどのような仕組みが必要と考えますか。また、地元の園や学校に通うことを望むケア児を受け入れることは可能ですか。

答 適切な対応をするためには、各施設に常時配置する看護師及び介助員とともに、各施設に派遣、巡回するための定時配置の看護師が必要です。「医療的ケア児支援法」の趣旨を踏まえ前向きに取り組めます。また、地元の園や学校に通うこ

とを望むケア児や保護者に対しては、個々のニーズや子どもの成長に応じた支援体制を確立し対応していきます。

問 幼い頃から多様性を理解するために、障がいのある無に関わらず共に学び育ちあう環境を整えることが大切だと思いますが考えを伺います。

答 共生社会の形成、多様な性の尊重を育む教育の推進は重要と考えます。全ての児童生徒が分け隔てなく育ちあう学びあう意識の醸成と環境の整備に取り組めます。

問 ケア児と家族の状況に合わせた切れ目のない支援を行うために、保健、医療、福祉、保育、教育等の連携は必須と考えますが、庁内連携はどのようなですか。

答 ケア児に対する教育、保育の保障に係る検討会を庁内関係各課で立ち上げ協議を重ねています。課題はありますが、解決方法はスピード感をもって立てていきます。

問 市長はどの子も幸せになる権利があると明言されていますが、ケア児と家族の幸せをどのように考えていますか。

答 全ての市民を幸せにする努力をします。



維新・半田市民の会 中川健一

市長の選挙公約、緊急コロナ対策は4項目中3項目が未実施

問 コロナ禍で職を失った方を臨時雇用します、との公約についてです。市長就任後から8月19日までの間に、新たに何人、どのような待遇、どのような仕事に雇いましたか。

答 わーくりい知多への加入状況等から、コロナ禍により職を失った市民がいると認識はしています。しかし市長就任後から8月19日までの間で、コロナ対策として市への臨時雇用の実績はありません。

問 自宅にこもりがちな高齢者の健康ケアを促進します、と言う公約についてです。前段同様に、コロナ禍で自宅にこもりがちな高齢者を新たに何人、どのように支援をされましたか。予算はいくらかかりましたか。

答 令和元年度に実施した「健康とくらしの調査」より、自宅に閉じこもりがちな市民は770人程度いると推計していま

す。しかし市長就任後から8月19日までに新たに予算を使つての公約実施の取組みはありません。

問 コロナとの共存を前に、市民活動・経済活動を行うための支援をします、との公約についてです。前段同様に、新たにいくつの市民活動団体に対し、どのようなコロナ対策支援を行いましたか。予算はいくらかかりましたか。

答 市民活動支援センターに登録がある市民団体は169あります。しかし市長選挙後に市民団体への新たなコロナ対策支援は実施していません。

問 これら3つの選挙公約は、緊急対策とのことでしたので、当然実施済みと考えています。また内容も実行するものが妥当と考えます。市長就任後90日を過ぎて3つの選挙公約を実行しなかった理由は何かですか。

答 それらの選挙公約は4月中に考え、5月上旬に公表したものです。6月の市長就任後はまん延防止状況も一旦終息しました。社会状況が変わつたため、選挙公約の実行を取りやめたものです。



創造みらい半田 岩田玲子

子宮頸がんを予防する

問 子宮頸がんや、子宮頸がんになる前の、前がん病変の予防には、子宮頸がんのワクチン接種が重要と考えます。令和2年10月、厚生労働省の方針により、対象者にワクチン接種を検討、判断するための情報提供を行うよう変更となりました。情報提供後の接種数はどのように変化しましたか。

答 令和元年度のワクチン接種者は延べ13人から、令和2年度には延べ15人、10倍以上の接種となりました。

問 任意で接種を行う場合、3回の接種で5万円弱かかります。情報不足で接種対象期間に接種できなかった方に対して、市独自の補助を行う考えはありますか。

答 接種対象期間後に接種した場合は、任意の予防接種となり、全額自己負担となるため、市独自の補助を行う考えはありません。



問 現在成人している女性でも、ワクチン接種により、将来の子宮頸がん、前がん病変を予防できます。半田市の全ての女性に情報提供され、自己判断、選択できる機会を設けて頂きたいと考えますが、いかがでしょうか。

答 ワクチン接種を自己選択していただけるよう、準備が出来次第、市ホームページ等を通じて周知を図ってまいります。なお、子宮頸がんは、前がん病変の段階で早期発見や早期治療が可能であることから、子宮頸がん検診を定期的に行うことの重要性も併せて周知してまいります。

問 現在はいくつかの年齢の小学6年生から高校1年生のうち、高校1年生の保護者宛てに個別通知による情報提供がされているとのことですが、今後、全ての対象年齢の方に、情報提供して頂けたらと考えますが、いかがですか。

答 保健センターだよりに掲載、学校を通じて、全ての対象者に情報提供していく準備をしています。